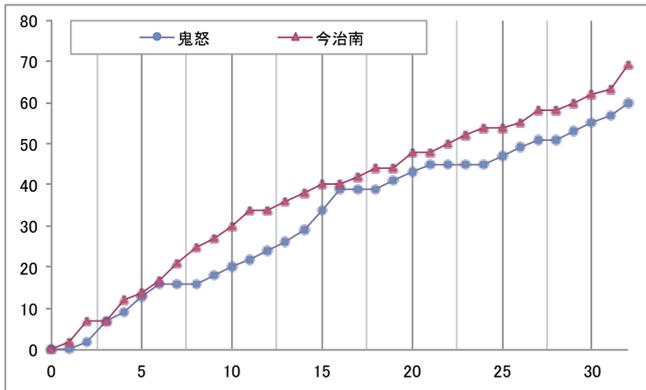




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会															
会場	トリムパークかなづ															
日時	2016年8月24日(水) 10:00															
コート	Bコート 第1試合															
カテゴリー	男 決勝トーナメント1回戦															
主審	高嶋 憲彰															
副審	田中 充															
TEAM A	TEAM B															
鬼怒 (栃木)	60 ●															
今治南 (愛媛)	69 ○															
	<table border="1"> <tr> <td>16</td> <td>1st</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>2nd</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>3rd</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>4th</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	16	1st	25	23	2nd	15	6	3rd	14	15	4th	15	-		
16	1st	25														
23	2nd	15														
6	3rd	14														
15	4th	15														
-																

得点経過



BOXスコア

TEAM A		鬼怒						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	西村 駿佑 (CAP)	×	7	1	1	2	2	
5	星川 堅信	×	29	4	8	1	1	
6	折原 威智	×	4	0	2	0	3	
7	野口 拓哉	×	2	0	1	0	1	
8	佐藤 弘真	×	6	0	3	0	0	
9	安納 榛杜	/	12	0	6	0	5	
10	今井 航大	/	0	0	0	0	2	
11	永田 翔梧	DNP	0	0	0	0	0	
12	築瀬 侑貴	DNP	0	0	0	0	0	
13	涌井 廉	DNP	0	0	0	0	0	
14	筑井 優希	DNP	0	0	0	0	0	
15	伴瀬 泰悠	DNP	0	0	0	0	0	
16	増淵 圭悟	DNP	0	0	0	0	0	
17	周 伽成	DNP	0	0	0	0	0	
18	佐藤 優気	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	渡邊 誠							
合計			60	5	21	3	14	

TEAM B		今治南						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	松尾 海我 (CAP)	×	31	2	10	5	3	
5	五味 龍之介	DNP	0	0	0	0	0	
6	渡辺 晃盛	DNP	0	0	0	0	0	
7	矢野 直樹	×	9	0	4	1	1	
8	川内 雄雅	DNP	0	0	0	0	0	
9	近藤 風磨	DNP	0	0	0	0	0	
10	松尾 河秋	×	18	1	4	7	3	
11	村上 敬汰	×	4	0	2	0	1	
12	青木 創一朗	DNP	0	0	0	0	0	
13	木原 陸	DNP	0	0	0	0	0	
14	加藤 健	×	0	0	0	0	0	
15	片山 敦凱	DNP	0	0	0	0	0	
16	浅海 吉彦	/	7	0	3	1	2	
17	高橋 幸丈	DNP	0	0	0	0	0	
18	阿波井 来勝	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	村上 翔子							
合計			69	3	23	14	10	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

鬼怒(栃木)、今治南(愛媛)ともにハーフコートマンツーマンDefでスタート。鬼怒は#5が、今治南は#4がOffの起点となったゲームが展開された。両チームどちらも探り合いのゆるゆるとした試合運びをする中、今治南のタイトなDefにより、鬼怒のシュートが入らない。今治南は#4と#10の3Pや#4の連続得点などにより、1Qは16-25で今治南のリードで終了。2Qも互いにハーフコートマンツーマンDefでスタート。鬼怒#5、今治南#4を中心とした攻めは変わらないものの、鬼怒#9や今治南#7、#10のシュートなどで互いに点を取り合う展開となる。2Q開始3分後、今治南の#10が速攻からのシュートを決め12点差としたところで鬼怒がタイムアウトを請求。今治南は#4を中心に攻めるが決まらない。対して鬼怒は#5を中心に攻め続け、1点差まで詰めて鬼怒39-40今治南で終了。

3Qも両チームどちらも前半と同じようなスタイルでの試合運び。互いにシュートが決まらない中、開始3分に今治南が、鬼怒41-44今治南の時点で1回目のタイムアウトを請求。その後鬼怒は#5のポストプレーで攻めるが、今治南#10の好Defでシュートが決まらない。今治南は#4、#7、#10のピックアップアンドロールなどで加点し、鬼怒45-54今治南で終了。最終4Q、今治南は#4が攻撃の起点となりながら#16、#10が得点を重ね、残り1分で鬼怒はタイムアウトを請求。その後、鬼怒は#9、#6のドライブなどで4点差に詰め寄ったところで、今度は今治南がタイムアウトを請求。これを機に今治南は#4、#7の加点により、再び7点差に差を広げる。その後、鬼怒はオールコートマンツーマンに切り替えファウルゲームに持ち込んだが、今治南は落ち着いてボールを回し、60-69で今治南が勝利し、ベスト8に進んだ。